

●ブレイクスルー

■ブレイクスルー感染：

ブレイクスルーは break through と書きます。もともとは研究などの「大発見」、「躍進」や交渉などの「進展」、「打開」あるいは「突破」、「打破」などの意味で使っています。

今回のブレイクスルー感染とはコロナワクチンを接種したにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症にかかってしまうことを言います。つまりコロナワクチンの感染防御を突破して感染することです。インフルエンザワクチンを接種していてもインフルエンザに感染するのと同じことです。

■ブレイクスルーの要因：

①中和抗体：2回目のコロナワクチン接種後、約2週間で抗体ができるといわれています。その抗体ができる前に感染したり、抗体そのものが少ない、あるいは時間経過とともに抗体量が減少して感染することがあります。

②変異株：新型コロナウイルス感染症の初期の頃の従来型と比べて、デルタ株などの変異株は感染力が強いのでワクチン接種を突破して感染することがあります。

■ブレイクスルーの実態：

ブレイクスルー感染があっても、ワクチンをうたない場合より重症化を防げる傾向があることが分かっています。国立国際医療研究センターによると、65歳以上の高齢者ではICUに入るほどの重症化する割合は1/8、死亡する割合は1/3に下がったといいます。

■どうしたらいいのか：

①副反応を理解した上で、ワクチン接種をすることが1番大事です。

②日本よりいち早くワクチン接種をしたイスラエル、イギリス、シンガポールなどでは制限緩和を受けて、重症化は少ないものの再び感染が増加しています。

③多くの国の経験、知見を参考にしながら、制限緩和を徐々に行うとともに、第6波が来ないように私たちもこれまで同様マスクを着用し、3密を避けることが重要と考えます。

④今後、2回終えた「全員対象」に3回目のワクチン接種が始まります。